

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県草津市西矢倉一丁目3番11号

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社T&K TOKA 滋賀事業所
代表取締役社長兼CEO 石合信正

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社T&K TOKA 代表取締役社長兼CEO 石合信正
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	埼玉県入間郡三芳町283番地1

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社T&K TOKA 滋賀事業所					
事業所の所在地	滋賀県草津市西矢倉一丁目3番11号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	4	5	※ 産業分類・細分類名称を記載 印刷インキ製造業
事業の概要	UVインキ・機能性樹脂の製造					
従業員の数	66	人	操業時間	17	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原簿換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	24	台
	コンプレッサ	2	台	空気調和設備	8	台
				照明設備	1400	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2025	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2029	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

1. 持続可能な資源およびエネルギーを積極的に利活用し、地球温暖化防止に貢献します。
2. 3R(Reduce、Reuse、Recycle)を推進し、限りある資源を有効に活用します。
3. 環境負荷物質および化学物質を適正に管理し、また安全安心な環境配慮型製品の開発・生産・販売に徹し、製品ライフサイクルを通じて地球環境や人体に悪影響を与えません。
4. グリーン調達を推進し、バリューチェーンを通じた環境配慮型の製品やサービスの拡大に貢献します。
5. 法令・規則・協定等の遵守はもとより、ステークホルダーの要請や期待に応えるため、より厳しい自主管理基準を策定および実践し、企業市民としての役割と責任・義務を果たします。
6. ビジネスの環境および自然資源への依存、影響、リスクおよび機会に対する理解を深め、気候変動への対応とも連携した持続可能なビジネスモデルを構築し、自然資本や生物多様性の保全に貢献します。
7. 品質・環境マネジメントシステムの継続的な改善により、品質の維持向上、環境の改善および汚染の予防を行い、社会と自社の持続的成長を実現します。

2 取組の推進体制

別添のとおり

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・建屋新設時、動力用モーターには、トップランナーを採用
- ・蒸気ボイラーのドレン回収を行い、給水タンクと熱交換し給水温度を高め都市ガス使用量の削減
- ・コンプレッサーの台数制御、インバータ制御の導入
- ・照明器具(トイレ、階段)を人感センサーにより無人時の消灯化
- ・休憩時間、未使用場所の照明を消灯(工場)
- ・設備機器の運転時間のコントロール
 - ボイラーの運転時間の短縮、モーターバルブの制御による不要時の送気ロス削減により都市ガス使用量削減
 - チラーユニットの冷却温度の適正化
 - 空調温度の制限
- ・社用車のハイブリット化
- ・給排気ファンのインバーター導入による電力削減

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	各種設備の運転適正化	継続実施	
2	運用改善	エアリーク、蒸気漏れの早期発見対処によるロス削減	継続実施	
3	運用改善	温室効果ガス原単位の把握・削減	継続実施	
4	運用改善	各種メーターの設置によるエネルギーの把握	継続実施	
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>目標の設定 サプライチェーン排出量の考え方Scope1・2を踏まえ、温室効果ガス排出原単位で算定し、前年度比1%削減を目標とする</p> <p>算定方法 温室効果ガス排出量[t-CO₂]/生産量実績[t] =温室効果ガス排出原単位[t-CO₂]/[t]</p> <p>2024年度 温室効果ガス排出原単位[t-CO₂]/[t] 2882.135[t-CO₂]/7459.294[t]=0.3864[t-CO₂]/[t]</p> <p>※電気の温室効果ガス排出係数は2024年度の基礎排出係数『0.419』に固定して算定する ※生産量実績については省エネ法で使用する換算生産量実績を使用 して算定する</p>	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	1,511				
温室効果ガス 総排出量	t-CO ₂	2,199				
エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	2,199				
非エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	0				
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推 移		0.3864				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電設備の導入検討
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
環境対応製品(省電力対応高感度UVインキ)の製造、販売、普及活動	
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
省電力対応高感度UVインキは、一般的なUVインキと比較し、UV印刷の工程で使用する消費電力が50%以下に抑えられるため、省電力対応高感度UVインキをより多く市場に普及させることが間接的に脱炭素化に貢献できると考え、目標に設定

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	2,199					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	2,199					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.419					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	7				
上記のうち 次世代自動車等 の数	台	0				
特記事項						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	取組内用 ①混合試薬及びその瓶を全量リサイクル化 ②資材事業所から排出される金属くずを全量リサイクル	継続実施	
2	環境マネジ メントシステム (EMS)	ISO14001規格に基づく脱炭素化に向けた各種取組	2019年 4月～	
3	カーボンフ ットプリント	原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイ クル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO ₂ に換算して環境負荷を定量的に算定する。	2022年 4月～	
4				
5				